

東広島商工会議所

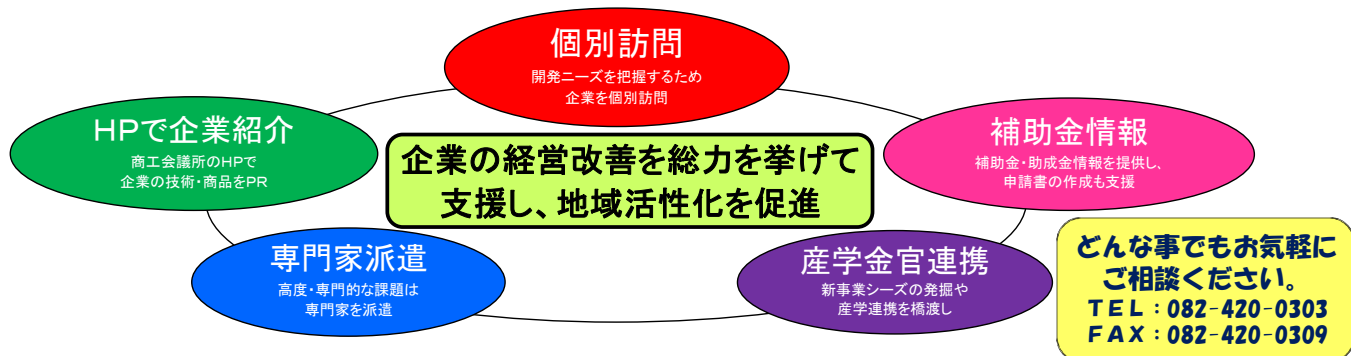
地域中小企業支援センターの産学金官連携事業の紹介

目的

- (1) 地域中小企業の経営改善の支援 → オンリーワンの自主独立企業の育成
- (2) 創業支援 → 新規創業・ベンチャー育成による地域活性化
- (3) 産学金官連携による新技術開発 → 企業と各機関の連携を図り、自主独立企業を育成

実施体制

豊富な知識、経験を有するコーディネーター（技術系、マーケティング系）が企業の様々な相談に対応します。相談内容によっては、弁護士、税理士等の専門家が相談に応じます。



支援内容

(1) 地域中小企業の経営改善の支援

個別訪問により企業ニーズを掘り起し、補助金・助成金情報の提供や専門家派遣等の支援を行います。

(2) 創業支援

創業したばかりの人やこれから創業を目指す人に対し、資金調達、事業計画作成、開業手続きなどを指導します。

(3) 研究会活動

「次世代技術研究会」では、2009年度から「自動車産業の今後の取り組み紹介」や「次世代技術の紹介」などをテーマに技術講演会を開催し、最新技術等に関する情報提供を行っています。また、本年度、業務整備やIT化への取り組みを通して、当地域の中小企業の生産性向上を支援するため、「生産性向上研究会」を新たに設置しました。全体勉強会やテーマ別の分科会活動のほか、産総研のMZプラットフォームの導入支援などに取り組んでいます。参加企業は随時募集しています。



昨年度の技術講演会の様子

産学連携（マッチング）事例

(1) 生産の乱れによる損失を最小限に抑えるソフト及び生産システムの開発（現場責任者がその場で対応可能となるもの）

- ◆企業名：松田鉄工(株)（東広島市志和町七条柁坂1700／輸送用機械器具製造業）
- ◆連携先：近畿大学工学部 情報学科・システム工学研究科 准教授 木村有寿 先生

松田鉄工(株)は、市販の生産管理ソフトで計画・生産しているが、様々な理由で生産が遅れることがある。遅れを回復する必要があるが、多種少量（数千種）生産しているため、単純に元の計画順序に従って生産を続けたのでは、納期が遅れる製品が多数ある。納期遅れを最小限にするために、木村先生が開発されている生産管理ソフトに同社の現状（データ）を取り込み、親子関係などの条件も考慮して、最善（納期遅れの最小化）の生産計画に作り直すことができるようアドバイスを受けている。



(2) ブレーキとアクセルの踏み間違い防止装置の開発

- ◆企業名：上本商事（東広島市河内町入野2646-1／省力化機械等設計施工、開発装置製作販売）
- ◆連携先：近畿大学工学部 機械工学科・システム工学研究科・次世代基盤技術研究所 教授 教育推進センター長 樹野淳也 先生

ブレーキとアクセルを踏み間違えて急発進し、事故が起こる事例が多数発生している。例えば、駐車券の発券（精算）時や車外の人と話をしている状態から発進しようとした時、靴がブレーキから外れてアクセルとブレーキの間に挟まってしまい、あわててそのまま足を踏み込んで急発進するケースなどである。これを防ぐために、邪魔板をブレーキに取り付け（写真）、足がブレーキから外れないようにして事故を防止する器具を上本商事が開発した。樹野先生には、当該事案の発生頻度や邪魔板の効果を検証する実験をお願いしており、実用化に向けて様々なアドバイスを頂いている。

